

山染紡の毛糸ができるまで

1 牧場からやってきた原毛を丁寧に洗います。



洗う前の原毛

洗った後の原毛

2 洗った原毛はハンドカーダーやドラムカーダーで毛の方向を揃える作業をします(カーディング)。



ハンドカーダー

ドラムカーダー



3 紡ぎ車やスピンドルで毛糸にします。



スピンドル

紡ぎ車

東京の庭取材陣もスピンドルと紡ぎ車を使って原毛を紡がせて頂きました。まずはスピンドルから。「スピンドルの方が難しいかな？私たちがいつもは紡ぎ車で紡いでいるから、こっちはあまり慣れてなくて。」といいながらも、島崎さんはスピンドルをくるくると回しては原毛をのぼして回しては伸ばして、と繰り返すうち、だんだんとスピンドルに糸が巻き付いていきます。ほほー、案外できちゃうのでは？と思いましたが、全然できない…。手伝ってもらいながら紡ぐも、できた糸はほんのちょっと。…ムズカシイ。

気を取り直して次は紡ぎ車に挑戦です！「紡ぎ車は足と手のタイミングが合うのに一苦労なのよ。」と言います。紡ぎ車は糸を巻き取る車を足のペダルを踏んで回しながら、手は原毛をのぼしていきます。よし、これならば！と意気込むも、やはり足と手のタイミングがつかめず、車を回す段階で一苦労。やっと紡いだ糸も縫りがぎつくなりすぎて、細〜く固〜くなっちゃいました。「柔らかな毛糸を紡ぐには空気を含ませながら紡ぐことがコツ。慣れちゃうと結構すぐ(糸を巻き付けている部分が)いっぱいになっちゃうのよ。」そうなるまでは大分時間がかかりそうです。山染紡さんの毛糸はふんわりやわらかくて気持ちいい。これ、長年の経験と技術のたまものなんですね。

11月11日 曇り時々晴れの秋雨

栗のイガで染色をすると聞き、見学させて頂きました。

この日の染料と原毛の分量は…

・栗のイガ…1kg ・原毛…1kg弱。 淡い茶色に染め上がりました。

1 洗った原毛を計量し、40℃のお湯に浸して温めておく。

2 栗のイガはゴミを取り除いて計量する。

3 イガを水から煮出して染液を作る。

4 布等で染液を濾してイガや細かいゴミを取り除く。

5 染液に原毛を静かに浸す。

6 ゆっくり時間をかけて煮染する

7 原毛を取り出して洗ったら染め上がり！

8 火を止めて40℃まで自然に冷ます。

山染紡の商品はイベント会場や通信販売でご購入いただけます。

セーターなど、オーダーメイドもOK!

TEL:0428(83)2004 島崎さん宅

詳しくは右記までどうぞ。

TEL:0428(83)2193 小峰さん宅